

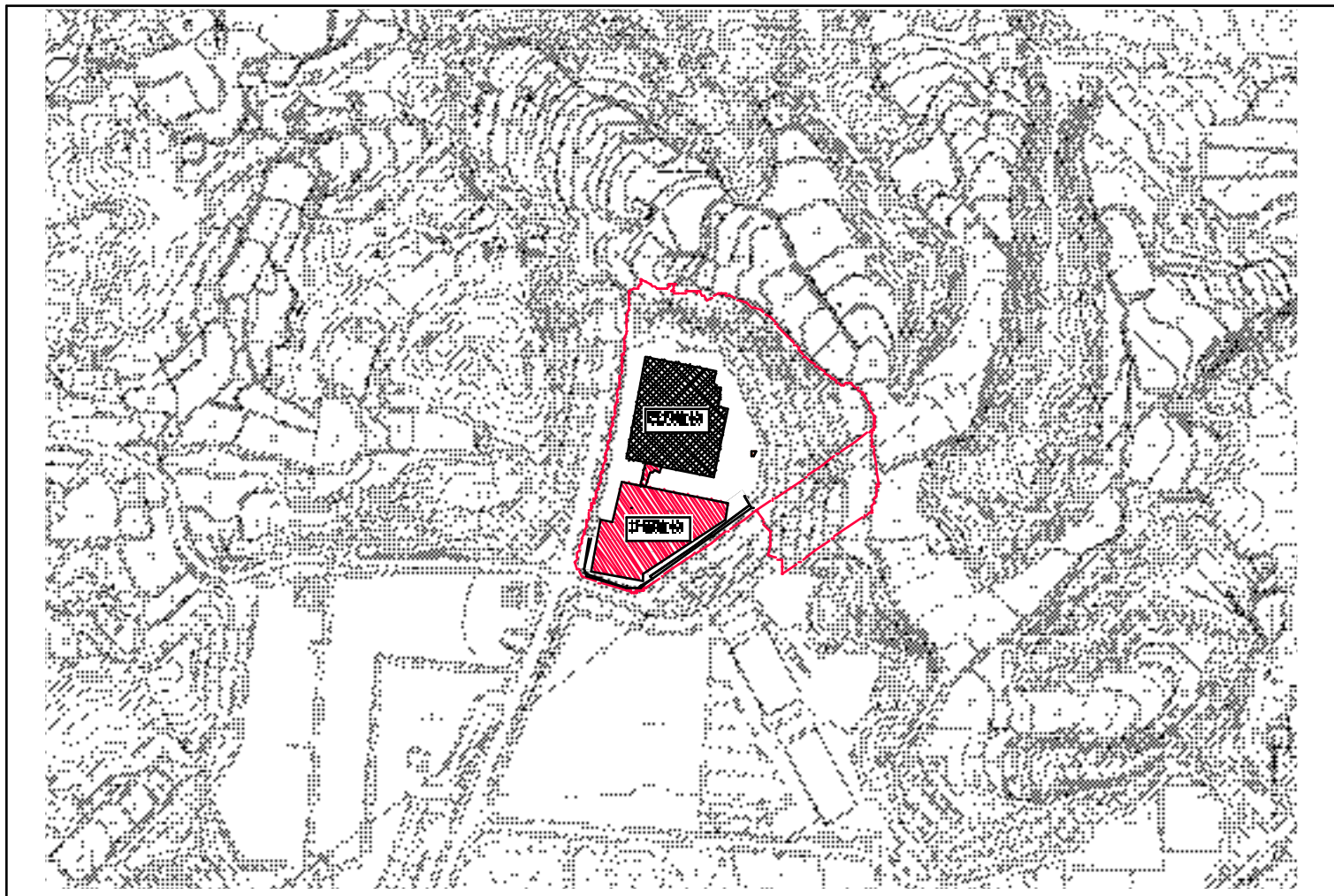
(仮称)株式会社バーレープラス 第二工場新築計画

基本計画

2016年 1月 8日

事業主：株式会社 バーレープラス
設計者：株式会社 服部建築事務所

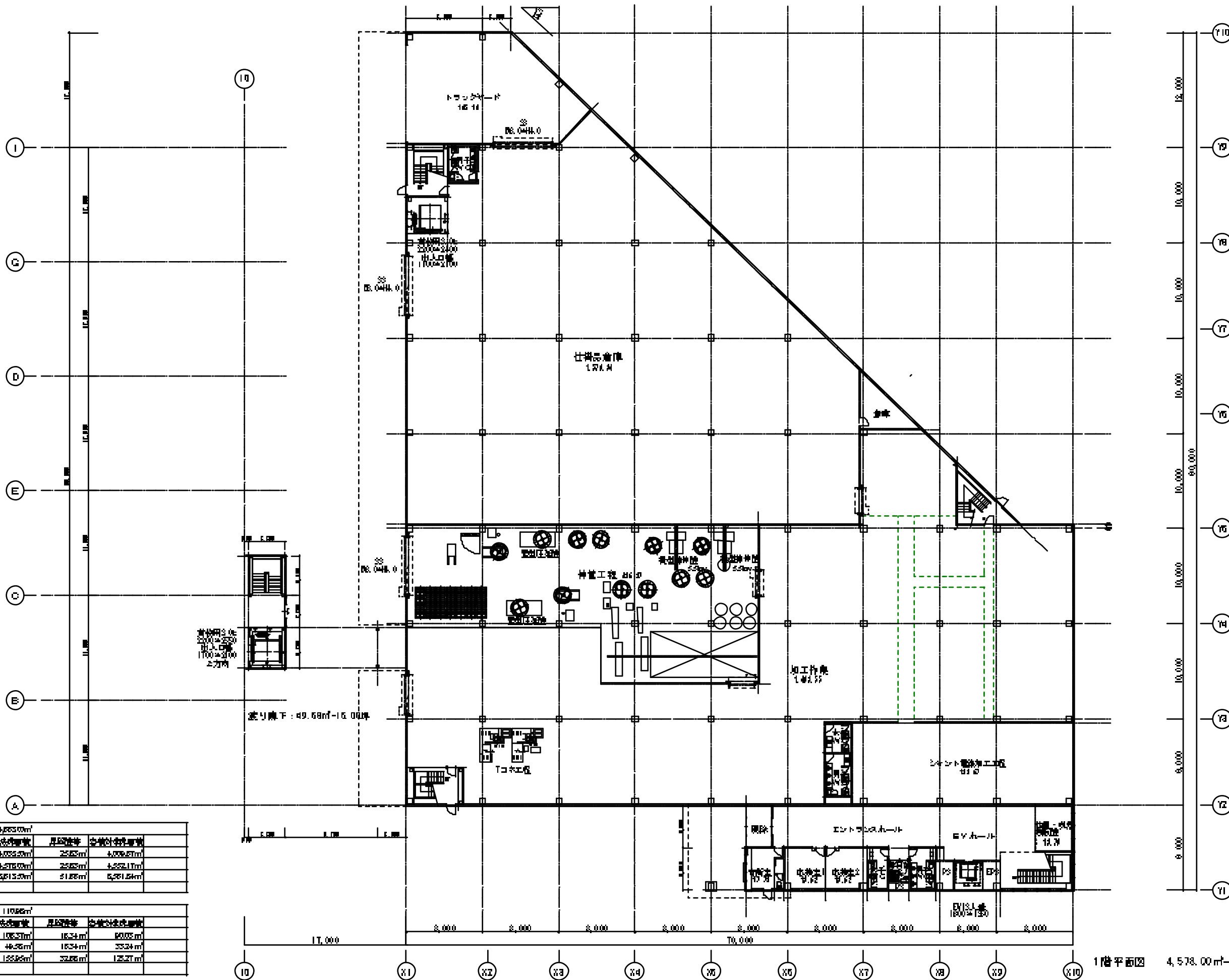
建 築 計 画 書					
工 事 名 称	[表紙]株式会社パーレープラス 第二工場新築計画				
建 築 名 称	[表紙]株式会社パーレープラス 第二工場				
建 築 場 所	奈良県生駒市高山町3916番18(宅地)3916番22(雑種地)				
用 途 地 域	雑工業地域(200/60)				
防 火 地 域	なし(雑種地域)				
地 区 計 画	生駒市高山学研地区地区計画				
そ の 他	生駒市景観計画区域内				
主 要 用 途	研究開発施設				
敷 地 面 積	34,316.36 m ² (宅地:29,598.83m ² 雑種地:4,717.53m ²)				
建 築 面 積	10,673.36m ²				
建 坪 単 位	31.10%				
延 べ 床 面 積	14,662.33m ²				
容 積 対 象 面 積	14,534.49m ²				
容 積 率	42.50%				
全 体 面 積 表					
[区分]	構造	階数	建築面積	延べ床面積	備考
[区分] 研究開発施設A	RC造	平屋	5,929.33m ²	5,929.33m ²	
[区分] 研究開発施設B	RC造	平屋	694m ²	694m ²	
[区分] 倉庫	RC造	平屋	41.44m ²	41.44m ²	
[区分] 倉庫	RC造	平屋	0.00m ² (専断:15.20m ²)	0.00m ² (専断:14.00m ²)	今回工事で解体予定
[区分] 水塔ポンプ室	RC造	平屋	400m ²	400m ²	
[区分] 駐車スペース	RC造	平屋	257.62m ²	257.62m ²	
既 設 建 物 合 計			5,329.33m ² (専断:5,914.53m ²)	5,329.33m ² (専断:5,913.33m ²)	
[区分] 倉庫					
[区分] 倉庫	RC造	2階	4,662.00m ²	3,613.90m ²	
[区分] 倉庫	RC造	2階	110.93m ²	155.95m ²	
計 画 建 物 合 計			4,772.93m ²	3,769.85m ²	
合 計			10,673.36m ²	14,662.33m ²	
棟 別	A: 第2研究開発施設		B: 渡り廊下		
規模・構造	鉄骨造・2階建		鉄骨造・2階建		
建築面積	4,662.00m ²		110.93m ²		
延べ床面積	3,613.90m ²		155.95m ²		
容積対象面積	3,561.94m ²		133.27m ²		
最高高さ	14.73m		11.10m		
外装仕上	イソバンド横張、ALC板、100吹付サイ		イソバンド横張		
屋根仕上	二重折板(二重断熱防音工法)		二重折板(二重断熱防音工法)		
そ の 他					



附近見取図 1:2,000



(仮称)株式会社ハーレープラス 第二工場新築計画外観イメージパース



管工費概算			
用途別	延床面積	単価	合計
2階	4,034.50m ²	25.55	103,000
1階	4,276.00m ²	25.55	109,300
外	6,213.50m ²	21.85	135,800
合計	14,524.00m ²		348,100

床工費概算			
用途別	延床面積	単価	合計
2階	4,034.50m ²	16.24	65,600
1階	4,276.00m ²	16.24	69,500
外	6,213.50m ²	13.27	82,600
合計	14,524.00m ²		217,700

1階平面図 4,578.00㎡-1, 384.35坪 2016.01.13

すべての機器から発生する音の敷地境界上の合成値(dB)

※全ての時間帯において管理基準値を満足する

	朝	昼	夕方	夜
東(No1)	31.4	31.4	31.4	31.4
西(No2)	41.4	41.4	41.4	41.4
南(No3)	36.7	36.7	36.7	36.7
北(No4)	37.4	37.4	37.4	37.4

管理基準	dB
朝(AM6~AM8)	40
昼(AM8~PM6)	45
夕(PM6~PM10)	40
夜(PM10~AM6)	30

騒音計算書 敷地境界上の合成音(外壁等の減音量については各周波数音の最小値を採用)

No	施設名	電力	稼働時間 時分~時分	①敷地境界上1m高さ の発生音 (dB)	内壁減音	外壁減音	東西南北の 敷地境界上 までの距離 (m)	②東西南北の距離減衰 (dB)	③内臓値による減衰 (dB)	④東西南北の距離による 気流損失減衰値 (dB)	⑤東西南北の敷地境界 上の上昇減衰係数 (L=0, Q=0) (dB)
1	既設工事		6:30 ~ 17:30	74			東 157.1	42.7			31.3
							西 124.5	41.2		32.1	
							南 162.7	44.2		36.6	
							北 73	37.3		36.7	
2	新工事	圧入機 ① 22kW	6:30 ~ 17:30	62	ALD	なし K20dB	東 46.7	33.4	20	15	6.6
							西 46.9	32.6	20	15	6.2
							南 66.3	36.3	20	15	5.7
							北 166.5	44.3		15	22.5
3	新工事	圧入機 ② 22kW	6:30 ~ 17:30	62	ALD	なし K20dB	東 52.7	34.4	20	15	7.6
							西 42.6	33.6	20	15	6.4
							南 67.5	36.6	20	15	5.4
							北 166.5	44.4		15	22.6
4	新工事	押入機 ① 5.5kW	6:30 ~ 17:30	76	ALD	なし K20dB	東 34	30.6	20	15	5.4
							西 46.7	33.4	20	15	2.6
							南 49	32.6	20	15	2.2
							北 162	43.3		15	15.7
5	新工事	押入機 ② 5.5kW	6:30 ~ 17:30	76	ALD	なし K20dB	東 37.7	31.5	20	15	4.5
							西 46.3	32.3	20	15	2.7
							南 33.7	34.6	20	15	1.4
							北 167.4	45.1		15	15.9
6	新工事	プレス機 ① 100k	6:30 ~ 17:30	60k	ALD (東・南)	なし K20dB	東 61.2	35.7	20	15	5.1
							西 26.6	29.3		15	36.3
							南 66.3	36.7	20	15	4.1
							北 166.5	44.5		15	21.3
7	新工事	プレス機 ② 110k	6:30 ~ 17:30	60k	ALD (東・南)	なし K20dB	東 63.6	36.1	20	15	4.7
							西 31.6	30.0		15	36.6
							南 71.6	37.1	20	15	3.7
							北 165.5	44.4		15	21.4
8	新工事	プレス機 ① 100k	6:30 ~ 17:30	60k	ALD (東・南)	なし K20dB	東 60	35.6	20	15	5.2
							西 23.6	29.5		15	36.3
							南 66.2	36.6	20	15	4.0
							北 166.5	44.4		15	21.4
9	新工事	プレス機 ② 120k	6:30 ~ 17:30	73	ALD (東・南)	なし K20dB	東 31.5	34.2	20	15	-1.2
							西 42.9	32.6	20	15	6.4
							南 26.3	26.1		15	36.9
							北 216.4	46.5	20	15	-15.6
10	新工事	プレス機 ① 40k	6:30 ~ 17:30	73	ALD (東・南)	なし K20dB	東 31.6	34.5	20	15	-1.3
							西 41.3	33.3	20	15	6.7
							南 26.3	26.4		15	36.6
							北 221.3	46.6	20	15	-15.6
11	新工事	プレス機 ② 300k	6:30 ~ 17:30	73	ALD (東・南)	なし K20dB	東 20.9	24.1	20	15	-1.1
							西 39	21.6	20	15	1.2
							南 26	26.6		15	36.1
							北 216.7	46.7	20	15	-15.7
12	新工事	プレス機 ① 40k	6:30 ~ 17:30	73	ALD (東・南)	なし K20dB	東 34	32.5	20	15	2.4
							西 42.4	32.5		15	25.5
							南 32	29.6		15	27.1
							北 166.3	46.6	20	15	-15.6
13	新工事	プレス機 ② 40k	6:30 ~ 17:30	73	ALD (東・南)	なし K20dB	東 31	29.5	20	15	3.2
							西 45.1	33.1		15	24.9
							南 24.9	29.6		15	27.1
							北 166	46.0	20	15	-15.0

※下記の既設合成値の最大値39dBをベースとして既設工場の想定発生音を導く

予測発生音 既設工場から発生する音の敷地境界上の合成音(dB)				
	朝	昼	夕方	夜
No.1	39.0	39.0	39.0	39.0
No.2	33.0	33.0	33.0	33.0
No.3	29.7	29.7	29.7	29.7
No.4	33.1	33.1	33.1	33.1

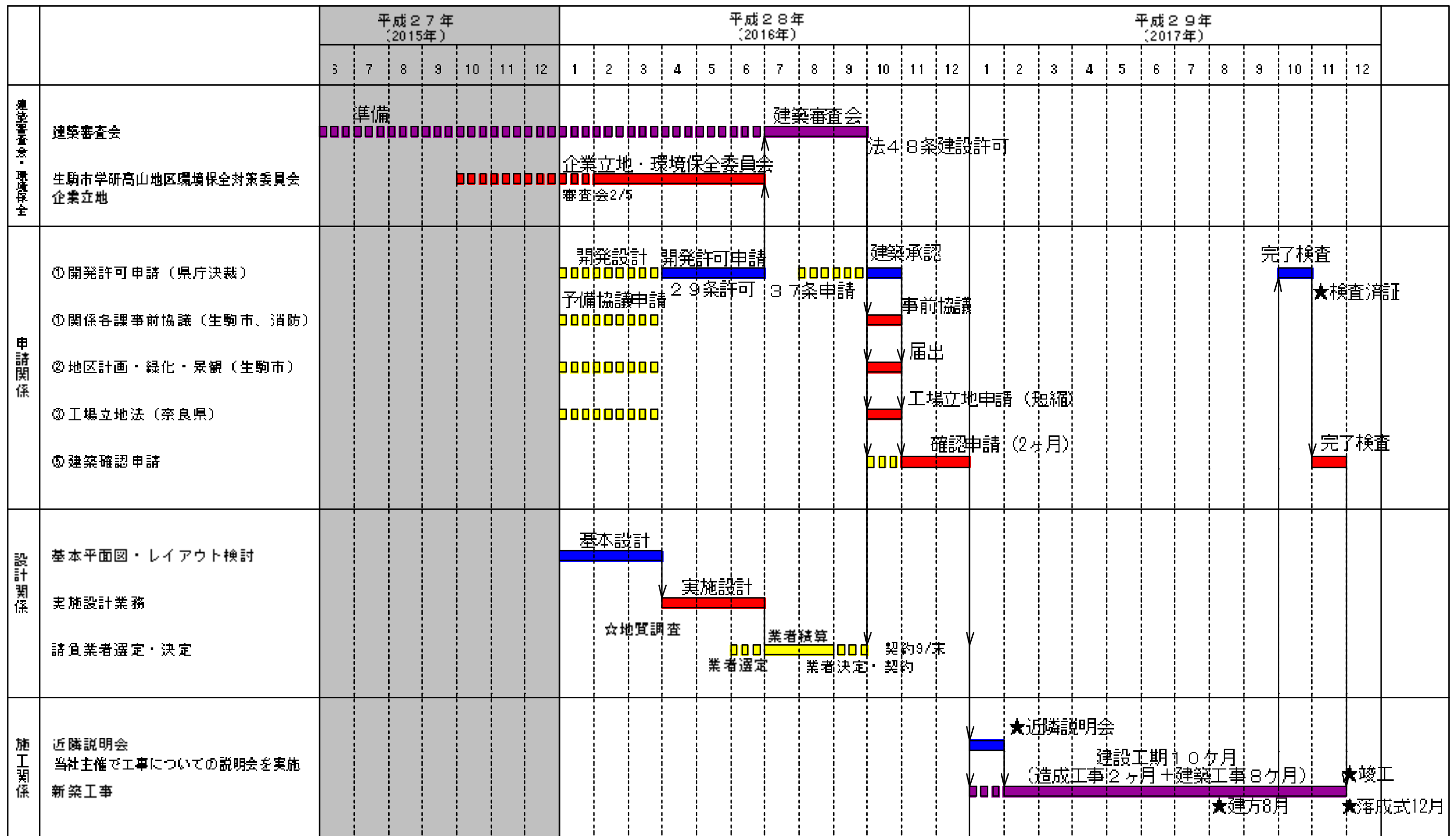
実測値 既設工場から発生する音の敷地境界上の合成音(dB)				
	朝	昼	夕方	夜
No.1	37.0	39.0	37.0	38.0
No.2	38.0	38.0	39.0	38.0
No.3	42.0	39.0	41.0	41.0
No.4	39.0	40.0	40.0	39.0

騒音計算書 既設工場発生音の想定

No	施設名	能力	稼働時間 分～時分	①施設が 51m離 れた地点 の発生音 (dB)	防止施設 名	建物構造	東西南北の 敷地境界ま での距離 (m)	②東西南北の距離 距離差(m)	③内部壁 による減 衰(dB)	④東西南 北の建屋 による透 過損失(d B)	⑤東西南北の敷地 境界線上による騒音 レベル(①-②+③+ ④)(dB)	
1	既設工場		24時間	74			No.1	58.2	33.0			39.0
							No.2	112.5	$\text{LOG10}(\text{No.1} \times 2)$ 41.0			33.0
							No.3	184	$\text{LOG10}(\text{No.2} \times 2)$ 44.3			29.7
							No.4	110.8	$\text{LOG10}(\text{No.3} \times 2)$ 40.9			33.1

(仮称) 株式会社パーレープラス 第二工場新築計画 工程表案 (修正)

平成28年 1月 8日



【工程表について】

- ※ 平成28年1月8日 修正工程作成。消費税増税対策として平成28年9月末までに工事請負契約締結とする。
- ※ 建築審査会の期間を平成28年7～9月に設定。建築審査会までに環境保全委員会を完了させることとする。(2017.6.10 生駒市建築課協議)
- ※ 都計法第37条承認申請可能な場合を想定し工程表作成：申請フロー：開発許可申請→37条申請→建築承認→建築確認申請
- ※ 都計法第29条開発許可について 未協議の為、申請期間不明。
- ※ 敷地内での新設駐車場の計画は見送りとし、敷地外にて確保するものとする。(開発許可申請期間を圧縮)